



原子力耐震・構造研究拠点の運営等に関する協定を締結しました

昨年12月24日(木)に東京電力株式会社、独立行政法人原子力安全基盤機構及び本学(以下、「研究実施団体」)の3者が本学において、原子力耐震・構造研究拠点の運営等に関する連携協定を締結し、第1回「研究協議会」が開催されました。

同協議会終了後は、会田洋柏崎市長同席のもと、共同記者会見が行われ、会見では、布村学長から連携協定の締結と研究体制の概要について報告され、会田柏崎市長から地元自治体としての今後の期待が述べられました。



また、同日、研究拠点の活動に対する助言及び支援を目的に、学識経験者で構成される「原子力耐震安全研究委員会」の初会合が一般公開で開かれました。東京大学大学院工学研究科の高田毅士教授が委員長に選出され、研究実施団体から研究拠点で実施される研究内容の説明がなされ、各委員との意見交換が行われました。

この研究拠点は、新潟県中越沖地震で原子力発電所が被災した教訓を踏まえ、世界最先端の原子力発電所の耐震構造研究などを行うことを目的としています。

なお、研究拠点の設置にあたり、本学は経済産業省から「平成21年度産業技術研究開発施設整備費補助事業」の実施事業者の採択を受けています。

また、実験装置を備えた研究施設(鉄筋コンクリート造3階建・一部免震)を本学構内に設置することとしており、本年3月に着工、同年11月に竣工を予定しています。



関連URL

http://www.niit.ac.jp/news/2009/12/post_217.html



社会人基礎力育成グランプリ東日本予選大会に出場しました



昨年12月22日(火)に東京都のすみだ産業会館・サンライズホールで行われた「社会人基礎力育成グランプリ2010東日本予選大会」(経済産業省主催)に、「地域密着型NIIT人間力育成事業」のプロジェクト実習B(運動遊具の開発)に取り組む情報電子工学科3年生4名が出場しました。

この大会には大学28校が出場し、本学学生は、大学の授業等を通じて企業との協同活動に取り組み、チームで働く力が伸びたことなど、日頃の成果を発表しました。残念ながら決勝に進出した4校に入ることはできませんでしたが、奨励賞を受賞しました。

なお、「地域密着型NIIT人間力育成事業」の取り組みについては、本学のホームページでもご覧いただけます。興味をお持ちの方はぜひ、ご覧ください。

関連URL

http://www.niit.ac.jp/news/2010/01/post_221.html

学友会主催のスポーツ大会を開催しました

昨年12月12日(土)に学友会主催のスポーツ大会を開催しました。当日はあいにくの悪天候のため、会場を本学体育館に移してフットサルとバレーボールの2種目が行われ、多くの学生が参加して汗を流しました。

フットサル4チーム、バレーボール7チームにより熱戦が繰り広げられ、フットサルは「松野明美with利高」チーム、バレーボールは「だめえづ」チームと、ともに建築学科4年生のチームが見事、優勝しました。

また、この大会には、留学生や職員も参加し、交流を深めることができました。



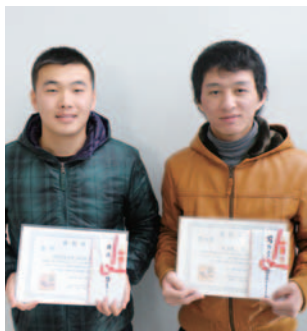
学友会では、明るく充実した学生生活を送ってもらうため、学生同士の交流やイベントを積極的に開催していきたいとのことでした。



関連URL

http://www.niit.ac.jp/news/2009/12/post_216.html

留学生が懸賞論文で入賞しました



第7回柏崎中央ロータリークラブ留学生懸賞論文コンクールにおいて、本学留学生の論文が入賞し、このほど賞状と賞金が贈呈されました。

表彰された留学生は、昨年10月、本学が学術交流協定を締結している中国ハルビン理工大学から

3年次に編入学した、李升国さん(機械制御システム工学科)と申永民さん(情報電子工学科)の2名です。テーマである「外国人から見た柏崎」について、李さんはハルビン市と柏崎市の気候、水、ごみの分類などを比較して佳作を受賞しました。一方、申さんは日本には祭りが多い点に着目し、その背景にある文化や宗教を考察して努力賞を受賞しました。

関連URL

http://www.niit.ac.jp/news/2010/01/post_223.html

業種別企業ガイダンスを開催しました

1月28日(木)に本学において、「業種別企業ガイダンス」を開催しました。

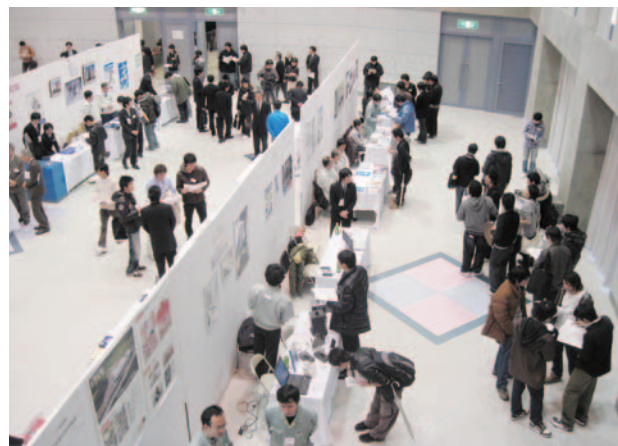
このガイダンスは、キャリア支援の新たな試みで主に低学年(1～2年次)の学生を対象とし、早くから業界の動向や企業の先端技術に触れることで職業観を高めるとともに、修学への意欲向上を図ることを目的としています。

当日は新潟県内企業を中心に35社の技術担当者の方々の参加があり、自社製品やパネルを用いて、業界の動向や自社技術について説明していただきました。



学生は約200名が参加し、各企業のブースを熱心に訪問しました。製品を手にとって具体的な質問をするなど、積極的にコミュニケーションを図る学生も多くおり、人間力形成においても有意義なガイダンスとなりました。

参加した学生からは、「製品等があるためわかりやすい」、「厳しい就職活動が想定されるため、早めの企業研究として参加した」、「授業で学んでいる内容が企業で活用できそう」等の感想が寄せられました。



関連URL

http://www.niit.ac.jp/news/2010/02/post_231.html

合同会社説明会及び就職研究会を開催しました

2月15日(月)、16日(火)の両日に本学において、平成23年3月卒業・修了生を対象とした合同会社説明会を開催しました。

また、今回は参加企業の方々に本学各学科の概要や就職に対する取り組みを紹介する就職研究会を併せて開催しました。

合同会社説明会は、両日とも午前・午後で参加企業が入れ替わる4部構成で行われ、新潟工科大学産学交流会会員企業、先端技術研究会会員企業を中心に、合わせて約140社の参加がありました。

来年度の就職戦線は、今年度に引続き超就職氷河期とすることが予想されています。学生もこうした状況を踏まえ、熱心に参加企業のブースを訪問し、人事担当者から業務内容などについて説明を受けていました。





中国黒龍江省訪問団が来学しました

中国の黒龍江省から干沙燕副省長を代表とする7名が本学を訪れ、布村学長や留学生らと懇談しました。

一行は、新潟市で開催された北東アジア経済発展国際会議に出席するため1月25日(月)に来日しました。翌26日(火)に、県庁にて泉田裕彦知事を表敬訪問した後、午後から同省にあるハルビン理工大学と学術交流協定を締結し、留学生を受け入れている本学を訪れました。

懇談会では、始めに布村学長が、ハルビン理工大学と本学の協定内容などを説明しました。その後、同大学から



本学に客員研究員として派遣されている董客員研究員や、昨年10月に3年次に編入学した李升国さんと申永民さんから、研究内容、日本や柏崎の様子などが報告されました。これに対し干副省長から、異国の地で活躍する3名に激励の言葉が贈られ、1時間の懇談は終始和やかに終了しました。

関連URL

http://www.niit.ac.jp/news/2010/01/post_227.html

ランチバイキングを行いました

昨年12月10日(木)に、本学学生食堂で今年度2回目のランチバイキングを行いました。

ワンコイン(500円)で、約50種類のメニューが食べ放題ということもあり、前回の7月に引き続き大盛況で、約220名が利用しました。

利用した学生の感想は、「好きなメニューを思う存分食べられて満足」、「フルーツやデザートがよかった」など、好評でした。

なかには、研究室の食事会として利用したところもあり、学生同士や教員との交流の良い機会にもなっていました。



また、今回のランチバイキングに併せ、農林水産省北陸農政局新潟農政事務所及び柏崎保健所の協力を得て学生を対象とした食育指導も実施しました。

特に一人暮らしの学生に対し、普段の生活では偏りがちな食物バランスの改善指導や、今回のランチバイキングメニューを使ったバランスの良いメニューの例示、実際に選んだ食品のバランスに対するアドバイスが行われました。



関連URL

http://www.niit.ac.jp/news/2009/12/post_213.html